



**植込株数(70株)を徹底し
収量・品質の安定に努めましょう!**

男鹿地区営農センター 目黒 竜平

● 田植え作業のポイント

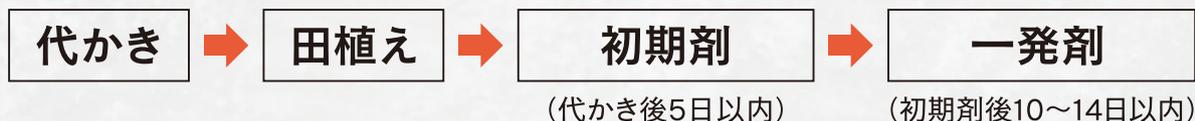
- ① 栽植密度は株数70株/坪以上・植込本数は5~6本(約400本/坪)
特に「あきたこまち」は植込株数・本数を減らした場合、低温に当たると最終穂数に影響する恐れがあります。
- ② 平均気温14℃以上の、好天が続く日に作業を行いましょう。
最高気温20℃以上が最適。最高気温15℃以下の日や強風の日を避けましょう。
- ③ 活着後~分けつ期は活着後からの浅水管理で水温・地温を高め、分けつを促し、初期分けつの確保に努めましょう。



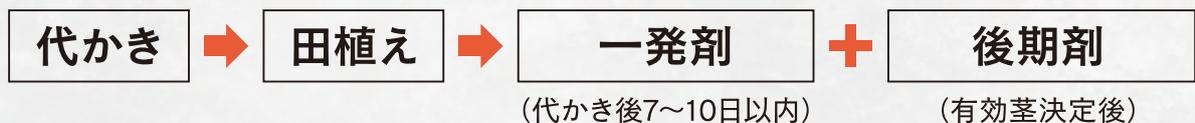
● 除草剤の効果的な使用方法

- ① 高低差を極力なくすように代かきを行いましょう。
- ② 漏水しないよう畦畔を点検しましょう。
- ③ 散布の遅れは取りこぼしの元になります。
- ④ 散布後4日間は止水させましょう。(水深5~6cm)

初期剤 + 一発剤体系処理 ※日数は目安です



一発剤のみ処理 ※日数は目安です



農薬名	使用時期
アツパレZ	移植直後からノビエ3葉期、ただし移植後30日まで使用。田植同時処理可能(フロアブル・ジャンボは移植後3日から)
ベンケイ	移植直後からノビエ3葉期、ただし移植後30日まで使用。田植同時処理可能(豆粒剤・ジャンボは移植後3日~ノビエ2.5葉まで)
カチボシ	移植直後からノビエ2.5葉期、ただし移植後30日まで使用。田植同時処理可能
バッチリLX	移植直後からノビエ2.5葉期、ただし移植後30日まで使用。田植同時処理可能

※除草剤によって使用基準が異なり薬害等発生する恐れがあるため、必ず薬剤のラベルを確認してください。